

「本町御坂の家」来月オープン



上＝空き家を再生し完成した「本町御坂の家」(倉敷市本町)
下＝鶴形山の斜面に建つため、古い町並みを見下ろすことができる

町家に宿泊 昭和の風情

倉敷のNPO 空き家再生

NPO法人倉敷町家トラスト(中村泰典
代表理事)が倉敷市本町で進めてきた空
き家を改装しての宿泊施設「本町御坂の
家」が完成した。12月8日にオープンす
る。

平屋建てで面積は約33平方メートル。1棟貸しで食事などのサービスは提供しないゲストハウスのスタイルで、宿泊は同トラストの会員になることが条件。1〜3人までの利用で料金は1万円〜1万4千円としている。

同トラストでは約10年前から空き家となっていた昭和初期の木造家屋と土地を借り、今夏に着手。風呂やキッチン、本町通りを見下ろすバルコニーを整備するとともに、はりを残し、床の間や障子、

焼き杉板の外観など町家の雰囲気を再現。地域住民も解体作業などに参加。事業費は1千万円で、伝統的建造物群保存地区に位置するため市の補助も受けている。

中村代表は「明かりがとまり、町の道しるべのような存在になってほしい。このほかにも空き家を生かしてほしいという声がある」と話している。問い合わせは同トラスト(0800-522321-6462)へ。

